

## 会 議 録

会議名	第3回丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成18年5月9日(火) 午後1時30分～午後2時45分
開催場所	丸亀市役所 本館2階 第3会議室
出席者	<p>出席委員</p> <p>青竹 憲二    秋澤 桂子    鷓川 覚    尾崎 真悟    加藤 正員  川邊 昭生    篠塚 智枝子    高橋 等    滝上 清司    田多 篤子  橘 節哉    馬場 慶子    細川 滋    細谷 達則    宮本 喜美代  宮脇 昭    山下 世為志</p> <p>欠席委員</p> <p>影山 篤弘    広田 穰    村田 哲康</p> <p>説明のため出席した者</p> <p>企画財政部長            藤岡 郁夫  企画財政部企画課長    藤田 秀光  企画課副課長            大喜多 章親</p>
議事	<p>(1) 丸亀市の現況(調査結果)について</p> <p>(2) 総合計画基本構想素案について</p>
傍聴者	なし
議事の進行及び発言要旨	
会長	<p>本日の議事は、「丸亀市の現況(調査結果)」と「総合計画基本構想素案」についてである。まず「丸亀市の現況(調査結果)」について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局(企画副課長)	<p>資料1 「丸亀市の現況(調査結果)」について説明</p>
会長	<p>「丸亀市の現況(調査結果)」についての説明に関して、何か質問があればお願いしたい。</p>
尾崎委員	<p>20ページの円グラフ「丸亀市の農業産出額内訳」と「香川県の農業産出額内訳」の中の「花き」と「その他」の間がそれぞれ何も書かれていないが何か。</p>

事務局（企画副課長）	記載もれのようなので、確認して修正する。
加藤委員	31ページの「観光客の推移」のグラフで、15年度は観光客数が特に増えているが、何か原因があるのか。
事務局（企画副課長）	原因については調べていないのでわからない。なお、この数値は旧丸亀市のみの観光客数であるのでご承知いただきたい。
会長	30ページの通学者数は、大学生の数も含まれているのか。
事務局（企画副課長）	この数値は、国勢調査の数値をもとにしているので、大学生の数も含まれている。
加藤委員	54ページから財政状況について記されているが、財政に関する分析が少ないように思う。現状のままでは、3年後に財政再建団体に陥ると聞かすが、現状と将来の財政的な予測が必要ではないか。
事務局（企画副課長）	財政計画それと行政改革においても、財政的なシュミレーションをしているので、それらとの整合性をはかり総合計画に反映したいと思う。また、この現況調査に、シュミレーションの数値をグラフ化し載せることもできる。
鵜川委員	この資料は、公開するのか。インターネットにも載せるのか。
事務局（企画副課長）	基本的に審議会の資料は公開である。 インターネットには、今のところまだ出してはいないが、公開しても問題ないと思う。財政健全化計画については、すでにネット上に公開している。
会長	ほかに意見はないか。ないようであれば、次に「丸亀市総合計画（基本構想素案）」について説明をお願いしたい。
事務局（企画副課長）	資料2 「丸亀市総合計画（基本構想素案）」を説明
会長	ただいまの説明について、何か質問があればお願いしたい。

<p>鵜川委員</p>	<p>13ページに「アカウンタビリティ」という言葉が用いられているが、ここで使用する言葉としてはどうかと思う。わかりやすく「説明責任」と日本語で表現したらどうか。</p>
<p>事務局（企画副課長）</p>	<p>そうしたいと思う。</p>
<p>鵜川委員</p>	<p>さきほどの意見にもあったが、財政的な面で少しボリュームが少ないように思う。今後、財政面が急激に好転することは考えにくいなかで、何か財政的な裏づけ、費用対効果、事業の優先順位などについての記述が必要ではないか。次以降の案では、少し触れてもらった方がよくわかるので、そうしてもらいたい。</p>
<p>宮脇委員</p>	<p>まちの将来像として「自然と歴史が調和し、人が輝く田園文化都市」とあるが、たとえば最近、飯野周辺に家が多く建ち始め、造成の際の地上げ等により、以前と水の流れが変わったことで、新たに灌水する箇所がでてきた。また、水路には農業用水が流れているだけでなく生活排水も流されているので、水路の管理等に苦慮している。そういった面にも配慮していただき、何らかの手だてを考えた計画にしてほしい。</p>
<p>川邊委員</p>	<p>さきほどの意見にもあったように、総合計画の基本構想には、財政的な裏づけがないと意味がない。このあと、基本計画も策定することになるが、何に重点を置くかといった、優先順位をつける委員会のようなものが、「協創」という考え方からしても必要ではないか。私の考えとしては、地域の産業振興、それと子育て・教育といった分野にウエートを置き、財政面での措置をすべきではないかと思う。それともう一点、総合計画に定めた政策・施策に係る成果に対して、その評価のあり方が非常に大切であると思う。総合計画のなかに、きちっとした指標を定めるべきである。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>基本構想のなかに、都市計画的な盛り込みがない。現在、調整区域もなくなり、ともすれば乱開発にもなりかねないので、行政として、都市計画的な誘導が必要なのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>都市計画については、都市計画マスタープラン策定委員会があり、そちらで検討されているが、総合計画策定にあたっては、マスタープランとの整合性をはかる必要がある。</p>

<p>事務局（企画課長）</p>	<p>総合計画は市における最上位計画であり、総合計画に基づいて各部門計画が策定される。都市計画マスタープランについては、平成17年、18年の2ヵ年で策定する予定で、総合計画と整合しながら並行しての作業となるが、あくまでこの総合計画を受けて策定するといったスタンスとなる。さきほどの意見にあったように、都市計画の線引きがなくなった結果、現実として旧調整区域内においても開発が可能となったため、今後はいかに適正な開発をさせるかが重要である。また、さきほど宮脇委員の意見にあった、飯野地区の宅地開発による生活排水の問題は、当該地区が下水道区域外であるため、言われたとおり課題のひとつであると思う。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>まず一点目、今回の総合計画は、新市建設計画がもとになっているはずであるが、特に財政面において交付税の削減等、当時とは状況が変わってきている。それが今回の総合計画策定にあたってどう影響しているのか、新市建設計画と今回の総合計画とではどこが変わっているのか。財政的な点をふまえて説明いただきたい。二点目は、資料22ページの政策の柱に「市民と市の協働のまちを創る」、施策目標に「市政への市民参画が進み、開かれた市政運営をめざす」とあるが、市民参画に関しては、コミュニティの役割が非常に大きいと思う。コミュニティが自ら市政を考え参加するといった地域の基盤づくりを、条例により推進する考えを持ち、それを基本構想に記述してもらいたい。</p>
<p>事務局（企画課長）</p>	<p>現在の財政状況は、新市建設計画策定当時に考えていた以上に厳しく、それをふまえて行革プラン、財政健全化計画を作成した。当然、新市建設計画の施策すべてを今回の総合計画に反映することはできない。先ほどの意見にもあったように、新市建設計画の主要事業について優先順位をつけ、総合計画前半の5ヵ年で行う事業、後半の5ヵ年で行う事業、さらには10年という計画期間が過ぎたのちに行う事業といった区分を行う必要がある。</p>
<p>川邊委員</p>	<p>さきほど、地方自治のあり方についての意見があったが、地域予算制度といった手法をとっている市がある。考え方としては理解できるが、なかなか難しく、かなりの時間と労力が必要であるらしい。</p>
<p>細谷委員</p>	<p>市民団体と市の協働については、活動団体の自立に向けて、市がどのように支援・育成するのかといったことを十分に考えてもらいたいと思う。</p>

川邊委員	審議会の意見は、どの段階でまとめて、どのようにして市に伝えるのか。
事務局（企画副課長）	総合計画の今後のスケジュールを説明すると、本日、基本構想素案について説明申し上げ、いただいたご意見を整理して素案を修正する。さらに基本計画についても同様に後日素案をお示しするので、協議していただき、総合計画案としてまとめたものについてのパブリックコメントを、6月か7月くらいに行いたいと考えている。最終的には、審議会としてまとめた意見を答申というかたちで市長に提出し、その後9月議会に議案提出することを目標にしている。
事務局（企画課長）	まだまだ素案であるので、いろいろご意見をお伺いし、最終的には原案というかたちにしてお諮りするので、よろしくお願ひしたい。
鵜川委員	今回「田園都市」という言葉がよく出てくるが、この「田園」の「田」というものについては、担い手の問題等さまざまな課題があるので、しっかりとらえていただき、「田園都市」という言葉だけではなく、どう行政がたずさわり支援するか、具体的な中身について考えていただきたい。
川邊委員	雇用問題についても行政でしっかり認識しておいてもらいたい。実際、雇用の改善については、行政が携わるセクションがないのが現実であるため、産業の振興を通じて雇用の機会を増やすといったような間接的な取り組みにならざるを得ないと思う。雇用改善に向けて、間接的ではあるが、ぜひ産業の振興に重点をおいていただきたい。
事務局（企画課長）	雇用問題について、その重要性は認識しているが、ご指摘のとおり末端行政において施策を講じることが大変難しい分野であることは確かである。そのなかでも、ハローワークのような方法、あるいは以前、旧丸亀市の制度としてあったベンチャーに対する融資などが考えられるが、さらに有効な施策が現在のところ出せていない。今後ご意見をいただきながら、あらたな施策についても検討していきたい。
川邊委員	最近、離職率の問題やニート問題等もあり、今後教育がたずさわる部分も大きいと思われる。
会長	ほかにないか。

事務局（企画課長）	<p>なければ、本日の協議については以上としたい。 次回の予定は。</p> <p>次回は、できれば5月下旬に基本計画も併せて協議願いたいので、日程調整を行い後日連絡する。</p>
会長	<p>以上で本日の審議を終了する。</p>